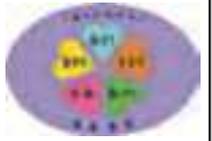


「あらかわの心」ニュース



第14号 平成24年3月9日発行

〔発行〕「あらかわの心」推進運動区民委員会

〔事務局〕〒116-8501 荒川区荒川 2-2-3 荒川区子育て支援部児童青少年課内

TEL 3802-3111 内線 3833 FAX 3802-0809

〔メールアドレス〕 arakoko@city.arakawa.tokyo.jp

〔ホームページアドレス〕 <http://www.city.arakawa.tokyo.jp/kosodate/index.html>

「おせっかい体験談リーフレット」リニューアル

こんな体験談を掲載しています

「あらかわの心」推進運動区民委員会では、「おせっかいおじさん・おばさん運動」を展開しています。この運動は、普段「おせっかい」にためらいを感じている人が、勇気をもって一歩を踏み出し、「他人に関心を持ちながら生きていこう」と呼びかけることを目的としたものです。

このたび、この運動の一環として、実際に行われている「おせっかい」の体験談を募集したところ、中学生から八十歳代の方まで多数のエピソードが寄せられ、14作品を掲載した新たなリーフレットを作成しました。

このリーフレットは、区民事務所・図書館等で配布しています。ご希望の方には郵送でお送りしています。※リーフレットのご感想をお寄せください。また、ご自分の「おせっかい体験談」がありましたら、あわせてお送りください。

「あらかわの心」推進運動とは

「おせっかいおじさん・おばさん運動とは」

「あらかわの心」推進運動区民委員会

おせっかい体験談

「あらかわの心」推進運動区民委員会

おせっかいおじさんの思い出

恒続文化

「大丈夫？ ほうら、もうこんな時間よ。早く学校へ行きなさい。」いつも、同じ時間、同じ場所での台詞を言われていた。「こんな時間」といっても、学校には間に合う時間なのだ。「はい。」と言いつつも、正直やめてほしかった。

ある朝、そのおばあさんはいなかった。……

（中学一年 女子）

＊続きはリーフレットをご覧ください。

▼「ありがとうございました」

「大丈夫？ ほうら、もうこんな時間よ。早く学校へ行きなさい。」

こなくて嬉しいおせっかい

広がるおせっかいの輪

最近とても気になる光景を度々目にします。それは、都電やバスに乗った時に、赤ちゃんを抱いた若いママが携帯電話に夢中になっていることとです。……（町屋 女性 70歳）

第61回「社会を明るくする運動」作文コンテスト

佳作

平成24年1月6日（金）、東京保護観察所において、第61回「社会を明るくする運動」作文コンテストの表彰式が行われました。

応募作品5610作品の中から、荒川区内の小中学生2名の作品（優秀賞1名、佳作1名）が選ばれました。

なお、これで荒川区からは6年連続の優秀賞と佳作の受賞となりました。

（更生保護法人東京保護観察協会理事長賞）

第四峡田小学校6年 中村 侑紀さん

「社会と思いやり」

中村 侑紀さん



▲優秀賞の中村侑紀さん（前列左）

（中学生の部）

南千住第二中学校3年 川俣 恵美さん

「共に生きていくということ」

受賞作品につきましては、区ホームページ（子育て応援サイト）に掲載いたします。

第36回わんぱく相撲荒川区大会が開催されます

平成24年5月19日（土）、荒川総合スポーツセンターにおいて「第36回わんぱく相撲荒川区大会」が開催されます。

昨年は小学1年生から6年生男女あわせて過去最高参加者となる513名のわんぱく力士が土俵に登り、全身に力を込め、真剣なまなざしで相手に向かって行きました。そして勝負は、うれし涙、悔し涙をぐっとこらえて礼で終わります。観戦するご両親も、我が子の初めて見る表情・感情に驚き、感動されていました。

今年も元気いっぱいわんぱく力士たちの参加を待っています！



▲昨年の「わんぱく相撲大会」

（公社）東京青年会議所荒川区委員会
委員長 中原 修二郎

第3回「あらかわの心」カルタ大会

今年で第3回目となる「あらかわの心」カルタ大会を、平成24年2月4日（土）、峡田ふれあい館において実施しました。

この大会は、「あらかわの心」推進運動区民委員会が作成したカルタを使った競技会で、当日は、未就学児（小学校に入学する前の子さん）の部、小学校低学年（1年から3年生）の部、小学校高学年（4年から6年生）の部に分かれ44名の参加者がメダルを目指して熱い戦いを繰り広げました。

競技では、参加者はかりでなく、応援の家族や友達も一体となり、大いに盛り上がりました。今回のカルタ大会を通して、きつと子どもたちにも「あらかわの心」推進運動の輪が広まっていったものと感じました。

各部の優勝者は以下のとおりです。

- 未就学児の部 岩城 優月さん（日暮里幼稚園）
- 小学校低学年の部 勝田 ちひろさん（尾久宮前小学校）
- 小学校高学年の部 市村 恭果さん（尾久宮前小学校）



▲優勝を目指して熱戦中！

被災地応援活動

レインボー子ども会が三十周年を迎えたその年に、東日本大震災が起こりました。私達は式典をするのも大切だけど、少しでもみんなの助けになりたいと話し合い、チャリティーバザーを行うことにしました。

平成23年10月16日(日)、荒川遊園地の前でバザーを開きました。バザーには洋服やおもちゃや日用品などが出され、お客さんもたくさん来てくれて、募金をしてくださる方もいました。レインボーの小さい子ども達も一生懸命頑張りました。

お正月飾りはこの数年、地域のお年寄りの方々に配っていましたが、今回は若手県田野畑村の皆さんのために作りました。



▲柿崎会長(真ん中)と大場さん

お正月飾りの土台は石鹸です。飾っている時は良い香りがし、飾り終わった後は石鹸として使えます。

私達のできることはほんのささやかなことですが、力になれたらと思います。

レインボー子ども会会長
柿崎 莉奈(尾久西小6年)

町屋駅クリーン作戦を実施

平成23年11月6日(日)、尾久消防少年団では都電荒川線町屋駅周辺でクリーン作戦を展開しました。

当日は、参加した団員29名が煙草の吸殻などのゴミ拾いを行ったほか、荒川西ライオンズクラブにも協力いただき、通行人にゴミ袋を配布しながら、環境美化と火災予防について呼びかけました。

尾久消防少年団では、こうした活動のほか、高齢者福祉施設の慰問や献血の呼びかけ等の社会貢献活動を通じて、地域住民に対する防火防災思想の普及に努めています。

尾久消防少年団 中村 美智子



▲みんなできれいにしました



▲クリーン作戦実施中

谷中七福神めぐり

平成24年1月3日(月)、荒川区史談会主催の39回目となる谷中七福神めぐりが実施されました。40名の参加者がJ.R田端駅前より、まずは東覚寺を目指します。

①東覚寺(福祿寿) ②青雲寺(恵比寿) ③修性院(布袋尊) ④長安寺(寿老人) ⑤天王寺(毘沙門天) ⑥護国院(大黒天) ⑦不忍池弁天堂(弁財天)

青雲寺では境内の筆塚・硯塚・道灌船松を見学し、修性院では塀にえがかれた布袋さんのタイル画がほほえましかったです。

荒川区立小学校PTA連合会OB会でも、毎年新年には谷中



▲不忍池弁天堂にて

七福神めぐりをしています。どなたでも自由に参加できますので、皆様のご参加をお待ちしております。

荒川区立小学校PTA連合会OB会 会長 関井 文枝

しきなみ子供短歌コンクール

倫理研究所主催・文部科学省後援「第7回しきなみ子供短歌コンクール」の表彰式が平成24年2月26日(日)、東京都港区のニッショーホールで行われました。全国の小学生より65,377名もの短歌が寄せられ、子ども達の純粋な感性に委員の方々も選考にご苦労されたと思えます。

どの作品も胸が熱くなるものばかりでしたが、今回は文部科学大臣賞の1名と荒川区から入選した2名の作品をご紹介します。

「入選」
「カタツムリ一生懸命進んでる
ぼくも前見て進んでみよう」
汐入小6年 星野 日出人さん

「佳作」
「天の川雲の向こうで光ってる
小さな星の大きな輝き」
汐入小6年 市川 史華さん

「大臣賞」
「しきなみ子供短歌賞・文部科学大臣賞(中学年の部)の作品」
「がれきの山見るのが辛く下を見たら
朝顔ひとつやさしくさいた」
(埼玉県・小学4年)

家庭倫理の会 荒川区
竹沢 とし子

百人一首たいけん会

平成24年1月22日(日)、第四中学校で「百人一首たいけん会」(青少年委員連絡会荒川・町屋フック主催)を行いました。

「百人一首」をゲーム形式で楽しめるように試行錯誤した結果、「山ちゃんジャンケン」「坊主めくり」「百人一首リレー」が完成し、当日は皆で楽しめました。

また「百人一首」を覚えてもらうだけでなく、小・中学生の異年齢交流を深めるとも良い機会にもなりました。

これからは皆が「百人一首」を楽しめるような、たいけん会を続けていきたいと思えます。

青少年委員連絡会荒川フック
田口 美代子



▲「百人一首リレー」



▲「百人一首」をたいけん中

東京荒川ライオンズクラブ クリスマス会

東京荒川ライオンズクラブでは様々な地域奉仕活動を行っています。青少年育成のための少年野球の支援、日本赤十字と共に行う献血活動などのほか、近年では障がいを持つ方の支援を積極的にを行っています。春にはポニー乗馬セラピー、秋には福祉パーベキュー、新年には福祉パーベキュー、新年には障がいを持つ方の成人式等を行います。

今回は平成23年12月19日(月)、サンパール荒川で行ったクリスマス会を紹介します。お食事や歌、ダンスを楽しんでいただきます。抽選でプレゼントも当たります。皆さんとても楽し



▲たのしく盛り上がりました!

にされ、希望者多数のため順番で参加してもらっています。当日はボランティア24名と料理を準備し、200名の障がいを持つ方をご招待しました。

東京荒川ライオンズクラブ
幹事 茂木 弘